

北見工業大学 国際交流センター ニュースレター

2014年2月・3月 第97巻

目次



1. 短期留学生修了式1
2. 公開講座「国際理解講座」2
3. 北方圏国際シンポジウム『オホーツク海と流水』3
4. 中国語短期語学研修3
5. 留学生交流のタベ4

短期留学生修了式

【2月10日(月)・講堂】

2月10日(月)に、短期留学生の修了式が開催された。中国、韓国、モンゴルから本学に留学していた10名の留学生が、1年間の課程を終え、無事修了した。修了式では、許斐ナタリーセンター長および国際交流センター教職員から祝辞が贈られ、修了証書の授与が行われた。その後、壇上にて、修了生が1人ずつ1年間の思い出や感謝の意を流暢な日本語で述べた。修了生の王卓越さんと王少謙が中心になって作成した修了生のムービーの上映もあり、留学中の様々な写真や、在校生からのビデオメッセージに、会場が沸いていた。修了生たちには、本学で学んだことを生かし、ぜひ世界で活躍してもらいたい。



修了生への教職員祝辞

【許斐ナタリーセンター長】

皆さん、修了おめでとうございます。半年から 1 年間の学びと留学経験の成果は如何だったでしょうか。皆さんが日本に來日し、北見工業大学で学ぶことを選んでくださって、とても嬉しいです。これから新たなスタートをされる皆さんのご活躍を北見よりお祈りします。そして、またいつか北見でお会いできたら嬉しいです。

【鈴木衛特任講師】

皆さんは、やると決めたことは積極的に行動に移していった有言実行型のタイプであったという印象が強く残っています。帰国後も友人と友情を育ててください。今後の活躍を期待しています。

【末繁美和特任講師】

留学中に日本で感じた楽しさや悔しさを忘れず、今後の糧にしてください。また皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

【尾山勝久非常勤講師】

皆さんは北見で一年過ごされ大勢の方々からたくさんの優しさや親切を受けられ、北見のことが大好きになったことと思います。北見は第二の故郷と思い、いつでも戻ってきてください。

【久保比呂美非常勤講師】

皆さんは北見工業大学や北見市に様々な影響を与える存在でした。今度は自分の国で多くの方々に影響を与えてください。皆さんの今後益々のご活躍を北見から応援しています。

【国際交流センター事務職員一同】

日本の社会・文化に順応し、1 年間よく頑張ってくださいました。本当に心から感謝しています。これからは、日本だけでなく世界にも目を向けて頑張ってください。



公開講座「国際理解講座」

【2 月 1 日(土)・第 1 第・2 会議室】

今年も、本学国際交流センターの教員 3 名による公開講座が開催された。

第 1 部は、鈴木衛特任講師による「台湾における留学生の現状について」、第 2 部は、末繁美和特任講師による「日本語学習者の頭の中を知る～言語習得のメカニズムと日本語教育～」、第 3 部は、「ドイツを知る～東西ドイツから統一ドイツまでの道のり」と題し、許斐ナタリーセンター長が講師を務めた。

3 時間という長丁場ではあったが、27 名の受講者は、講師の話に、終始真剣に耳を傾けていた。講座終了後のアンケートには、「国際的な内容が聞けて興味深かった」、「東西ドイツ統一のビデオが感動的だった」などの意見が寄せられた。今後も、このような地域住民に向けた情報の発信を行っていきたい。



北方圏国際シンポジウム

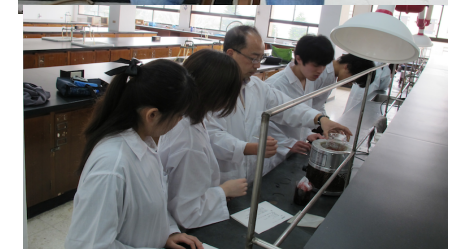
【2月16日(日)・17日(月)・紋別】

紋別で開催された「第29回北方圏国際シンポジウム オホーツク海と流氷」に、本学から22名の留学生が参加した。開会式では、本学を代表し、イデヒョンさん(韓国)が日本語でスピーチを行い、感謝の意を述べた。式の後には、朝日新聞記者の中山由美(「南極から地球が見える」とNHK札幌放送局の川瀬直也さん(「流氷の海から羽ばたけ～NHK潜水カメラマンの挑戦」)の特別講演が行われ、写真や映像を交えた講演に、来場者たちは聞き入っていた。夜の記念レセプションでは、地域の方々がおもてなし料理を振る舞って下さり、本学の留学生によるピアノや歌のパフォーマンスも会を盛り上げた。そして、夜は、各々のホストファミリーのお宅にホームステイさせて頂いた。2日目は、学術シンポジウム後、天候の悪化により、午後の施設見学は中止になったが、仲間やホストファミリーと過ごした2日間は、留学生にとって思い出深いものとなったようだ。

中国語短期語学研修

【2月22日(土)～3月22日(土)・台湾中国医薬大学】

本学から、5名の日本人学生が、台湾の中国医薬大学で行われた中国語短期語学研修に参加した。中国語の授業はもちろん、医学講座や、水墨画や凍頂ウーロン茶の講座などもあり、有意義な1ヶ月となったようだ。今年の参加者は、非常にコミュニケーション能力が高く、台湾人学生と積極的に交流していたのが印象的だった。台湾で得た知識や人との絆をこれからの学生生活の糧としてほしい。



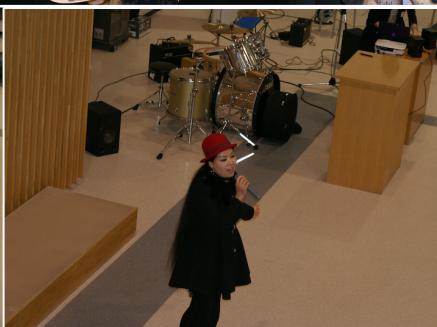


留学生交流の夕べ

【3月4日(火)・アトリウム】



3月4日に、留学生交流の夕べが開催され、学内外から約120名が参加した。高橋理事の挨拶に続き、卒業生を代表して韓国人留学生の李慶武さんがスピーチを行った。記念品贈呈の後には、会に出席した10名の卒業生が、それぞれの思い出をまとめたスライドを発表し、Kiroroの「未来へ」を合唱した。卒業生からの心のこもった歌のプレゼントに、会場からは大きな拍手が送られた。また、中国人留学生の歌や、モンゴル舞踊、マレーシア留学生および日本人教員のバンド演奏が行われ、盛大な会となった。就職や帰国で北見を離れる卒業生たちにとっては、最高の思い出になったにちがいない。



今後の予定(4月～5月)

- 4月7日(月) 入学式 [於 北見市民会館 大ホール]
- 4月8日(火)・11日(金) 新入留学生オリエンテーション [於 A208 ゼミ室]
- 4月24日(木) 語学研修説明会 [於 A208 ゼミ室]
- 4月24日(木) インターナショナルCアワー [於 ミーティングルーム2]
- 5月26日(月) 留学生歓迎会 [於 研究生交流施設前芝生]